

# 第3回土砂災害に関するシンポジウム

開催日：平成18年8月7日～8日

最近、2004年新潟・福島豪雨災害、2004年台風23号災害、そして台風14号来襲による2005年宮崎豪雨災害など豪雨災害が頻発しています。中でも斜面崩壊、土石流など土砂災害が群を抜いて多く発生しております。このような状況の中、土砂災害防止法が2001年に施行され、地方自治体では土砂災害警戒区域などの指定が進められています。そのため、指定地域では警戒避難体制の整備などソフト対策の充実が迫られており、土砂災害の予知・予測の精度向上が急務となっております。

九州・山口地区では、2002年度から、「土砂災害に関するシンポジウム」を隔年で開催し、土砂災害の危険度評価や予知・予測法などについて学際の見地から発表・討議を行って参りました。2004年度は、全国から、30編の研究発表と200名を超える研究者・技術者・防災行政担当者の参加を得て発表・討議を行いました。そこで、2006年度におきましても、砂防、地盤、河川、水文・気象、地形・地質、防災工学など広範な分野からの参加を全国から募りシンポジウムを開催することとしました。広く分野を越えて発表・討議を行いたいと思っております。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。また、一般の方々からの参加・討議も歓迎いたします。

## 記

1. 主催：(社)土木学会西部支部
2. 後援：(社)砂防学会、(社)地盤工学会、水文・水資源学会、日本応用地質学会、日本自然災害学会、日本地すべり学会九州支部、熊本自然災害研究会
3. 日時：平成18年8月7日(月) 9:00～17:00  
8日(火) 9:00～17:30
4. 会場：熊本市国際交流会館ホール(熊本市花畑町4-8 TEL:096-359-2020)  
(詳しくは6ページに添付している地図を参考にしてください。  
<市電利用の場合> 熊本城前下車徒歩1分、<バス利用の場合> 熊本交通センター下車、徒歩約5分  
<自動車利用の場合> 九州自動車道益城熊本ICから県道28号線を熊本城方面へ、市民会館前交差点を右折
5. プログラム：

8月7日(月)

9:00～9:10 開会挨拶 「第3回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員長 北園芳人

### 【セッション1 地震により発生した土砂災害】

9:10～9:30 福岡県西方沖地震における崩壊の地形地質的特徴 - 2005年台風災害等の他災害との比較 -

九州大学大学院農学研究院 久保田哲也・大村寛

九州大学大学院生物資源環境科学府 松本雅道・ハスナウイル・武石久佳・茅島信行

9:30～9:50 地震動による斜面崩壊と侵食速度ポテンシャルの関係 - 新潟県中越地震の例 -

防災科学技術研究所川崎ラボラトリ - 長谷川浩一・末富岩雄・若松加寿江

- 9:50～10:10 2004年10月新潟県中越地震による斜面災害と斜面对策工  
日特建設(株)技術本部 平田 文
- 10:10～10:30 繊維質固化処理土工法を用いた芋川河道閉塞緊急対策工事について  
東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻 高橋 弘  
(株)森環境技術研究所 森 雅人・柴田 聡  
(株)廣瀬 佐々木和則
- 10:30～10:50 災害現場で発生する軟弱泥土の連続式回収処理システムに関する基礎的研究  
東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻 高橋 弘・高橋研太・須藤裕子
- 10:50～11:10 休 憩
- 【セッション2 斜面崩壊, 監視システム, モニタリング技術】
- 11:10～11:50 (招待講演)のり面植生をどう管理するか  
西日本高速道路(株)中国支社 星子 隆
- 11:50～12:50 昼 食
- 12:50～13:10 根系を含む表層土の透水・強度特性  
山口大学大学院理工学研究科 鈴木素之・山本哲朗・西村昌也
- 13:10～13:30 光ファイバセンサを活用した斜面管理と表層崩壊予測手法の提案  
(独)土木研究所つくば中央研究所材料地盤グループ 古谷充史・小橋秀俊・加藤俊二
- 13:30～13:50 京都市周辺斜面における崩壊発生予測を意図した現地斜面モニタリング  
立命館大学 COE 推進機構 酒匂一成  
(株)奥村組関西支社 岩崎賢一  
立命館大学理工学研究科環境社会工学専攻 里見知昭  
立命館大学工学部都市システム工学科 深川良一  
立命館大学 COE 推進機構 安川郁夫
- 13:50～14:10 地形・地質特性からみた深層崩壊発生溪流の抽出手法の提案  
(独)土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム 酒井直樹・鈴木隆司・栗原淳一
- 14:10～14:30 衛星画像立体表示による災害地形と植生の検討  
鹿児島大学産学官連携推進機構 木下 紀正  
鹿児島市学習情報センタ - 富岡 乃夫也  
川辺町立大丸小学校 戸越浩嗣
- 14:30～14:50 高分解能衛星画像から抽出したDEMによる台湾大甲流域の土砂移動分析  
九州電力(株)土木部 白石貴司  
NTT デ - タ(株)第一公共システム本部 筒井 健  
西日本技術開発(株) 中川英明  
九州大学大学院工学研究院 三谷泰浩・江崎哲郎
- 14:50～15:00 休 憩
- 【セッション3 土砂・流木の生産と流出, ダム堆砂】
- 15:00～15:20 豪雨による流木生産量の推算法  
建設技術研究所九州支社 平野宗夫  
建設環境研究所九州支社 原田民司郎  
鹿児島工業高等専門学校 疋田 誠

- 15:20～15:40 降雨・地形因子を用いた崩壊地発生要因の分析と流域生産土砂・流木量の推定について  
 (独)土木研究所寒地土木研究所寒地水圏研究グループ 村上泰啓・山下彰司・赤岩孝志
- 15:40～16:00 天神川における土砂動態の実態把握および将来予測  
 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 大木孝志  
 国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所 小島 亨  
 いであ(株)大阪支社 川津幸治・永田 徹・加藤陽平
- 16:00～16:20 管理ダムにおける堆砂実績と計画堆砂量に関する一考察  
 西日本技術開発(株)河川部 澤田 尚・吉永 寿幸・能塚 孝
- 16:20～16:40 出水時のゲート放流が与えるダム湖内の流動と濁度の観測について  
 (独)寒地土木研究所寒地河川チム 島田友典・渡邊康玄
- 16:40～17:00 赤土流出による海洋被害軽減のための赤土改質に関する研究  
 東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻 高橋 弘・中村浩之  
 (株)森環境技術研究所 森 雅人  
 八千代エンジニアリング(株) 小谷謙二

8月8日(火)

【セッション4 警戒避難, 情報伝達など】

- 9:00～9:20 土壌雨量指数から見た雨と土砂災害の関係  
 気象庁東京管区气象台気候・調査課 岡田憲治
- 9:20～9:40 2005年台風14号における災害発生地域を対象とした土砂災害発生基準雨量線の検討  
 西日本技術開発(株) 大石 博之  
 山口大学大学院理工学研究科 松本 幸太郎・古川 浩平
- 9:40～10:00 降水レーダを用いたリアルタイム土石流危険度マップ  
 崇城大学工学部環境建設工学科 森山 聡之  
 鹿児島工業高等専門学校土木工学科 疋田 誠
- 10:00～10:20 熊本県内の自主防災組織の現状と情報伝達について  
 熊本大学大学院自然科学研究科 北園芳人  
 熊本大学大学院自然科学研究科 山川高弘
- 10:20～10:30 休憩

【特別講演】

- 10:30～11:10 熊本県の防災情報システムの改善  
 熊本県土木部砂防課 吉良忠暢

【セッション5 2003年水俣市および2005年大分県九重町の土砂災害】

- 11:10～11:30 2003年7月水俣宝川内土石流災害-地質的背景・発生機構・今後の予測  
 熊本大学大学院自然科学研究科 北園芳人  
 熊本大学大学院自然科学研究科 長谷義隆  
 (株)アバンス 工藤 伸  
 復建調査設計(株) 坂本省吾  
 基礎地盤コンサルタンツ(株) 福田泰英  
 (株)アバンス 岩内明子

11:30 ~ 11:50 2005年7月10日大分県九重町で発生した土石流災害について

八千代エンジニアリング(株)九州支店 高岡広樹  
九州大学大学院工学研究院 橋本晴行  
鹿児島工業高等専門学校土木工学科 疋田 誠  
八千代エンジニアリング(株)九州支店 山崎一彦・寺脇 学

11:50 ~ 12:50 昼 食

【オ - ガナイズドセッション 2005年台風14号による宮崎県の土砂災害】

12:50 ~ 13:30 (Keynote Lecture) 2005年9月6日台風14号による宮崎県の土砂災害

宮崎大学名誉教授 応用地質(株)宮崎支店 谷口義信

13:30 ~ 13:50 2005年9月台風14号に伴う宮崎県鰐塚山北麓の土砂災害状況と斜面崩壊の特徴

国際航業(株)九州支社 古閑美津久

国際航業(株)河川砂防部 笠原拓造

国際航業(株)九州支社 宇城輝

13:50 ~ 14:10 2005年9月宮崎県鰐塚山で発生した土石流の現地調査と流出規模の推定

八千代エンジニアリング(株)九州支店 高岡広樹

九州大学大学院工学研究院 橋本晴行

九州大学大学院工学府 田籠卓也

国際航業(株)九州支店 古閑美津久

八千代エンジニアリング(株)九州支店 山崎一彦

14:10 ~ 14:30 河道閉塞近傍の振動センサ - 記録による振動特性の検討

日本工営(株)中央研究所 大角恒雄

(株)先端力学シミュレーション研究所 浅原 裕

鹿児島大学農学部 下川悦郎

14:30 ~ 14:50 台風05414号災害時の宮崎県日之影町における避災と災害情報

岩手県立大学総合政策学部 牛山素行

14:50 ~ 15:00 休 憩

【オ - ガナイズドセッション 2005年台風14号による大分県、熊本県、広島県の土砂災害】

15:00 ~ 15:20 2005年台風14号により発生した大分県竹田市における斜面崩壊

京都大学防災研究所 堤 大三・藤田正治・中川 一

京都大学大学院工学研究科 林 雄二郎

15:20 ~ 15:40 熊本県南部における2005年台風14号による斜面崩壊の特徴について

熊本大学大学院自然科学研究科 北園芳人

(株)アバンス 工藤 伸

復建調査設計(株)熊本事務所 坂本省吾

(株)アバンス 岩内明子

15:40～16:00 2005年台風14号による広島での土砂災害とその原因

広島大学大学院総合科学研究科環境科学部門 海堀正博  
復建調査設計(株)防災システム部 中井真司  
広島県土木部土木整備局砂防室 大本直樹  
国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所 森田耕司  
広島大学大学院工学研究科地球環境工学講座 作野裕司

【オ - ガナイズドセッション 2005年台風14号による鹿児島県の土砂災害】

16:00～16:20 2005年台風14号による南九州での土砂災害

鹿児島大学大学院理工学研究科海洋土木工学専攻 鈴木隆文・松元真一  
鹿児島大学工学部海洋土木工学科 北村良介

16:20～16:40 2005年9月垂水市における土石流災害と課題

鹿児島工業高等専門学校土木工学科 疋田 誠  
九州大学大学院工学研究院 橋本晴行  
福岡工業大学社会環境学部社会環境学科 小川 滋  
崇城大学工学部環境建設工学科 森山聡之

16:40～17:00 垂水市土石流災害の調査および本家・分家論からの考察

崇城大学工学部環境建設工学科 村田重之

17:00～17:20 2005年台風第14号における土砂災害警戒情報の運用と垂水市小谷地区住民の対応

長崎大学工学部社会開発工学科 高橋和雄  
京都大学大学院工学研究科都市社会学専攻 河内健吾  
長崎大学工学部社会開発工学科 中村聖三

17:20～17:30 閉会挨拶

「第3回土砂災害に関するシンポジウム」副実行委員長 平田 和彦

6. 定員：200名程度

7. 参加費：3,000円(論文集代2,000円を含む)

8. 懇親会：8月7日、シンポジウム終了後、熊本市役所14階展望レストラン「彩」(熊本市手取本町1-1、TEL：096-328-2954)にて懇親会を開催いたします。

懇親会費は5,000円です(当日シンポジウム会場で徴収いたします)。

9. 参加申込方法：下記の申込用紙に所定事項をご記入の上、FAXもしくはE-mailで申込みいただき、現金書留、郵便振替もしくは銀行振込にて参加費を振り込みください。

・銀行振込：西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1134463 (社)土木学会西部支部

・郵便振替：01710-5-30332 (社)土木学会西部支部

入金確認後、FAXで参加証をお送りしますので、当日ご持参下さい。

10. 参加申込締切日：平成18年7月21日(金)

11. 参加申し込み先：土木学会西部支部

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4-12 シー・ティー・アイ福岡ビル2F

TEL(092)717-6031 FAX(092)717-6032

E-mail：[jsce-w@io.ocn.ne.jp](mailto:jsce-w@io.ocn.ne.jp)

